

日本語學 試題

(限用答案本作答)

本卷可以日文或中文回答。(答えは中国語か日本語のいずれも可)

一、問答。(質問に答えてください。) 35%

- 1、試説明「字体」和「書体」的不同。
- 2、試説明「音訳」和「意訳」的不同。
- 3、試説明「新語」和「流行語」的異同。
- 4、試説明「テンス」和「アスペクト」的不同。
- 5、試説明日語的「話し言葉」和「書き言葉」之特色。

二、解釈名詞。請選7題作答。(次の名詞を7つ選んで解釈してください。) 35%

- 1、条件異音
- 2、二重分節
- 3、横書き
- 4、取り立て
- 5、格助詞
- 6、認知言語学
- 6、字音語
- 7、シラバス
- 8、感動詞
- 10、生成文法

三、注仮名。(ルビをつけてください。) 10%

- 1、子音
- 2、派生語
- 3、対照研究
- 4、誤用分析
- 5、服部四郎
- 6、形態素
- 7、語順
- 8、訓点
- 9、副語尾
- 10、撥音

四、閱讀測驗。閱讀下文、並回答問題。(次の文章を読んで質問に答えてください。)

.....

私は①現代日本語を日本語史の中で位置付けることが必要だと考えており、過去を切り捨てた形で現代日本語を考えることに与しない。言語は言語文化として過去を背負いつつ現代に生きているのである。辞書項目として“ねこ”を言語学的に定めることは難しい。“ねこ”は<ネコ科の動物の一種>とするのは動物学的な定義で、“ねこ”が分からない以上意味をなさない。<虎に似て小さい動物>などは“虎”を知っていなければ意味がない。“虎”よりも“猫”の方が身近な日本人にとっては、“虎”の説明に“ねこ”を出す方が自然であろう。<犬とともにもっとも身近に飼われる動物>、<鼠をとる動物>などの説明は、愛玩動物にどのようなものがあり、犬や猫がどう位置付けられるか、鼠をとることが人にとって役に立つと考えられているかどうかなどのことと関わっており、狭い意味での言語の問題を離れている。<様々な毛色のもがある>などのことは“白猫”“黒猫”“虎猫”などとの関わりを考える上では重要であろう。②“化け猫”となる、幸運をもたらすなどのことは事実であるかどうかではなく、その時代の人にとってそう信じられていたとすれば、そのことは重要なことであろう。こういった様々なことを

銘傳大學九十一學年度應用日語學系碩士班招生考試

第四節

(第2頁共2頁)

日本語學 試題

(限用答案本作答)

含めて、歴史的、社会的に、文化との関わりを考えて“猫”“黒猫”を位置付けてゆくことが必要であろう。

……

前田富祺「黒猫」の言語文化史(『日本語史研究の課題』武蔵野書院、平成十三年十月二十五日)

問題(質問)

- 1、文中下線の部分(①と②)を中国語に訳してください。 10%
- 2、作者は何を言いたいのでしょうか。辞書における語に対する説明・解釈及びその問題点なども含めてまとめてみてください。 10%

本試題係両面印刷

試題完